

子どもたちのためのPTA活動

日進市立香久山小学校PTA

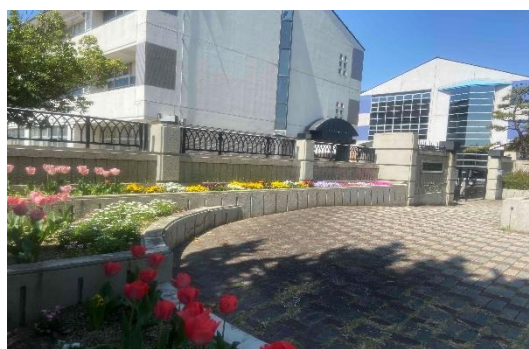
1 はじめに

本校は、平成5年度に日進市で6番目の小学校として開校し、名古屋市のベッドタウンとして新興住宅やマンション、商業施設も多くある日進市西部に位置している。児童数は今年度までは増加傾向で現在在籍は830名である。地域を愛する古くからの地元居住者と転居者混在の中、保護者の教育への関心は高く、本校の教育方針や教育活動に大変協力的である。PTAの役員・委員だけでなく、地区の自治会・見守り隊による交通ボランティア、地域学校協働活動による各種ボランティアなど、意欲的な支援をいただいている。学校での活動が多様化している中、今後も地域社会、関係機関からの積極的な学校支援が不可欠であると考えている。

2 研究への取組

(1) PTAの組織

PTA役員11名で理事会を組織し、委員は60名ほどで常置部会を組織し、安全部、地域連携部、研修部、広報部のいずれかに所属して活動している。それぞれの委員会は、以下のような内容を中心に活動している。

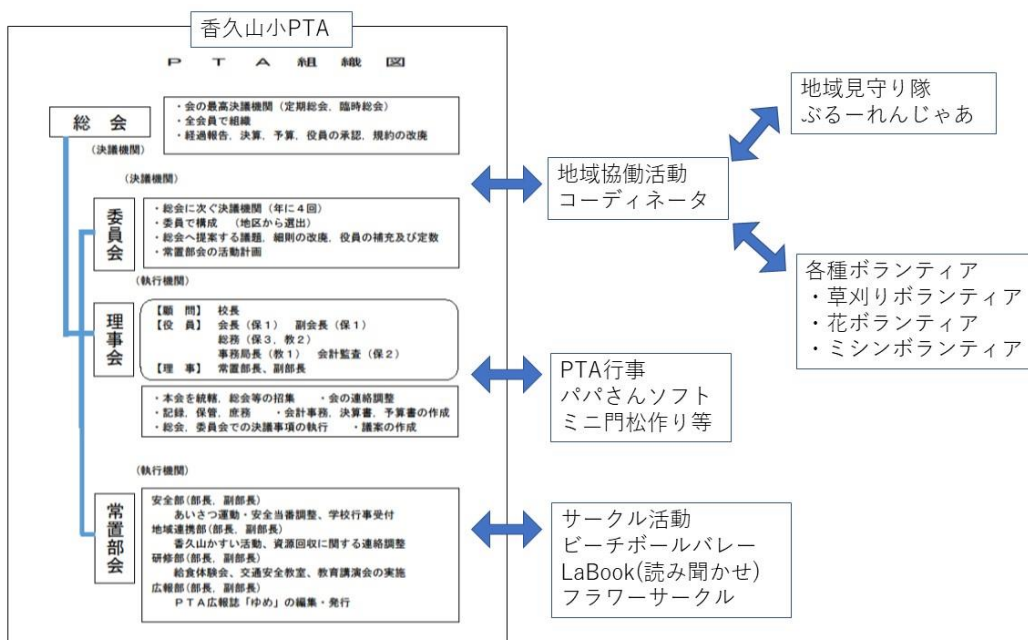


【香久山小学校校舎】

- 安全部・・・交通安全見守り活動・あいさつ運動
- 地域連携部・香久山家推との連携、資源回収
- 広報部・・・PTA広報誌「ゆめ」の発行、各種行事取材
- 研修部・・・給食体験会、PTA研修会

その他に、保護者間の親睦を含める目的で、文化的な活動を行うPTAサークル活動（ビーチボールバレー、フラワーサークル、読み聞かせサークルLaBook）や、パパさんクラブによるソフトボール大会、地域の様々な団体が協力して行うふるさとふれあいまつり、親子でのミニ門松作りなどの交流イベントが行われている。

また、日進市では令和3年度より各中学校区に地域学校共同本部が置かれ、地域協働活動コーディネーターが1名ずつ校区の小中学校と地域の連携を支えている。香久山小学校では、地域の方による交通安全見守り隊「ブルーれんじゃあ」、学校運営や児童の指導を補助する「花ボランティア」、「ミシンボランティア」、「草刈りボランティア」等が地域協働活動コーディネーターの仲立ちにより募集され、快く応募された方々で精力的に活動していただいている。



【香久山小学校PTA役員・委員組織図】

(2) 研究のねらい

P T Aの意義や組織のあり方について、特にコロナ以降、問われる声が大きくなった。一旦、中止や縮小を余儀なくされたP T A活動を、もとの形に戻すのか、様々な負担を考慮し、縮小を続けるのか、市内の各校P T Aも岐路に立たされている。しかし、子どもたちの健やかな成長を願う思いは、教師、保護者とも、いつの時代も変わらないはずである。時代の流れ、社会の変化に対応しながらも、子どもたちのためになることを、前向きに進めていくために、本校では活動方針を次のように定めた。

「子どもの笑顔を広げよう！-今できることを、明るく、楽しく、元気よく-

できることをできる範囲で持続できるP T A活動を念頭に置き、親子や地域の方との触れあう場、つながりを深める場を設け、保護者同士や地域の方と情報交換を行い、共に子育てを楽しみ、子どもたちのために支援をしようという気持ちが育つような活動を進めていきたい。

3 実践活動の概要

(1) つながりを大切にする学校づくり

① パパさんソフトボール大会

P T A内の「パパさんクラブ」が中心となり、子どもたちや教員チームも参加し、親睦のためのソフトボール大会を毎年行っている。本年度は4チームでのトーナメント戦を行った。途中で雨天のため中止となり残念であったが、親子、教員の交流を深める機会となった



【パパさんソフトボール大会】

② ふれあいふるさとまつり

香久山家庭教育推進委員会が中心となり、11月に学校の敷地内で様々なイベントを行う「ふるさとふれあいまつり」を行っている。地域の団体や老人クラブの餅つきやミニゲーム、豚汁の提供、学校の金管バンド部のコンサートなどで子どもたちも楽しく参加し、賑わっている。

③ 親子ミニ門松づくり

P T A主催で年末に親子で参加できる「ミニ門松づくり」を行っている。伝統的な正月飾りを作り、各家庭で新年を迎える準備をするイベントであり、毎年多数の親子が参加している。



【親子ミニ門松づくり】

④ サークル活動

ア フラワーサークル

月に1回程度、季節の花材を使用して、フラワーアレンジメントやリース、小物などを作成している。夏休みには親子で花の香りのバスボムづくりを行った。活動中は和気あいあいと参加者同士の情報交換が行われている。

イ L a B o o k (読み聞かせサークル)

朗読の練習を重ねて、毎年1回ずつ全ての学年に朝の時間に絵本の読み聞かせを行っている。子どもたちもとても楽しみにしている。クリスマスには図書スペースでクリスマスお話し会を行ったり、絵本の料理を再現して作ったりするなどの数々のイベントも行っている。



【LaBook 読み聞かせ】

ウ ビーチボールバレー

月1～3回程度、有志が集まって近隣のスポーツセンターを利用して、ビーチボールを使ったバレーボールを楽しんでいる。初心者から気軽に参加でき、運動不足解消と、親睦、交流を目的に、活動を続けている。

(2) 地域と支え合う学校づくり

① 草刈りボランティア

5月の連休明けと、9月の末に、保護者および地域の有志を募って「草刈りボランティア」を行っている。運動会前や夏休み明けに雑草の伸びきった植え込みや校内周囲の樹木をきれいに整備していただけた。



【草刈りボランティア】

② 花ボランティア

毎月第2火曜日に、保護者や地域の方を募って、「花ボランティア」を行っている。校内各所の花壇の整備を行っている。花の苗は、市内の地域協働活動本部から各校に支給されている補助金を使って購入している。校内の花壇が常に季節の花で彩られており、子どもたちの目を和ませている。



【花ボランティア】

③ ミシンボランティア

高学年の家庭科の授業で、ミシンを使った裁縫をする際、ミシンの使い方や糸が絡まるなどのトラブル対応のため、地域の方にミシンボランティアを募ってサポートして頂いている。ミシンのトラブルは頻発し、担任教師だけではとても手が足りずにいるので担当教師も非常に感謝している



【ミシンボランティア】

④ 地域見守り隊ブルーれんじゃあ

P T Aの安全部と連携しながら、主に地域のお年寄りを募って、登下校の見守り隊「ブルーれんじゃあ」を発足し、低学年の少人数下校などを見守ってもらっている。よく目立つロゴの入ったブルーのビブスをつけて活動している。体調不良やけがなどのトラブルにも対応、連絡して下さり、安全な登下校を支えて下さっている。



【ブルーれんじゃあ】

4 おわりに

(1) 地域とのつながりを大切にするP T A活動

様々な活動を見直してみると、コロナ禍の影響はあったが、当時の活動が大切な部分で地域とのつながりを保っていた。現在でも温かく学校を支える体制があり、つながりをより強いものにしていこうとする思いを感じることができる。あり方が問われ続けているP T A活動であるが、過去から紡がれている思いを大切に今できることを続けていきたい。

(2) 地域協働活動などの支援体制

日進市では、各中学校区地域協働活動本部が置かれ、活動支援と連携のために地域協働活動コーディネーターが配置されている。支援を要望する学校と、支援したい地域をつなぐ架け橋として、それぞれの思いを具現化するために活動している。本校も円滑に様々なボランティアの支援を受けることができている。こうした自治体の支援も、今後拡充されていくことが、地域社会、関係機関との連携を図る上で重要であることを感じた。